



R4年度 『ちいきを考える会』
波岡東地区

「ちいきを考える会」では、活動内容を住民の方たちに広く知ってもらおうと、各部会でそれぞれチラシを作成しました。自治会、連合会、公民館などを通じて各戸配布しました。

生活支援 部会

日常生活におけるちょっとした困りごと。その手助けを目指し、「地域住民による住民のためのボランティアグループ」立ち上げを模索しています。
お互いさまのまちづくりを目指します。

高齢者の
お困りごと
一緒に考えます！

080-4953-8707

水更津市社会福祉協議会
波岡東地区生活支援コーディネーターチーム
出口 真由美 (でくまゆみ)

波岡東地区ちいきを考える会

困りごとのワンストップ相談窓口として、生活支援コーディネーター出口さんの電話番号を載せました。分かりやすく、大変心強いとお声が届いています。

生活環境 部会

地域内の猫トラブルを把握し解決するため、「ネコの問題はヒトの問題」という視点から、地域福祉にかかわるメンバーで1年間話し合いを重ねました。
「地域猫活動」が始まった地区もあります。

ちいきを考える会
地域猫活動

地域猫活動とは？
地域猫活動とは、地域住民が中心となり、地域の猫の生活環境を整え、猫と人間が共生できる地域づくりを目指す活動です。

地域猫活動の目的
1. 地域猫の生活環境を整える
2. 地域猫の健康管理を行う
3. 地域猫の繁殖管理を行う
4. 地域猫の認知度を高める

地域猫活動のメリット
1. 地域猫の生活環境を整えることで、猫の健康を維持できる
2. 地域猫の健康管理を行うことで、猫の寿命を延ばせる
3. 地域猫の繁殖管理を行うことで、猫の数を抑制できる
4. 地域猫の認知度を高めることで、猫と人間が共生できる地域づくりができる

子供たちに地域の問題を知ってほしいとの思いから、八幡台小・波岡小・波岡中の生徒たちにも配りました。今後も住民トラブルの丁寧な解決を目指します。

この2つの活動、一見関係ないように見えるけど、でも実はしっかり繋がっているんです！

八幡台小 6年生 保護動物について学ぶ

生徒たちが主体的に学び考える、「総合的な学習の時間」。6年生は、地域の方々と一緒に団地のゴミ問題に取り組むなど、一年を通じて身近な課題に取り組んできました。
またこの度、「キャリア教育」の一環として、袖ヶ浦市のどろぼう保護ハウス『さかがみ家』のみなさんに、保護動物について学ぶ貴重な機会を頂きました。
どこか遠いところの話ではなく、自分たちの周りで起きていること。そう気づいた、忘れられない一日になりました。

俳優の坂上忍さんが、持続可能な保護活動を目指し、昨年4月に開業した動物保護ハウス。

1. 保護動物ってなんだろう？
犬の場合(桑原みずきさん)
猫の場合(小野真弓さん)
2. 実際にわんちゃんと触れ合ってみよう！(スペシャルゲスト:文太くん&サンタくん)
3. 坂上さんへの質問コーナー
4. みんなで記念撮影

まず、「保護動物とは」「なぜ助けが必要な動物たちがいるのか」を、スライドを見ながら学びました。
元野犬だった愛犬、友美ちゃんの話をしてくれた桑原さん。手描きの猫ちゃんのイラストで、野良猫を取り巻く問題について分かりやすく教えてくれた小野さん。
お二方とも体験に根差したご自分自身の言葉で、保護動物の現状と課題について話してくださいました。
続いて犬の着ぐるみを着た古山さんが登場し、わんちゃんとの正しい関わり方を伝授。子供たちは大爆笑でした！
実践編では、里親募集中の文太くんと坂上さんの愛犬サンタクんの気持ちに寄り添ったスキンシップが出来ました。
最後に坂上さんから、「将来保護活動をしたいと思ったら訪ねてきてください」と嬉しい言葉が。キャリアの選択肢が一つ増えたかな。素敵な種が蒔かれた瞬間でした。

実は、今回の動物愛護教室に先立って、1月と2月に『さかがみ家』の桑原みずきさんと小野真弓さんによるキャリア学習が行われました。
子ども達が将来の仕事を考える上で、沢山の気づきとヒントを下さいました。現在取り組まれている保護活動の話も頂きました。

社会福祉功労者表彰おめでとうございます！

昨年末に開催された『きさらづ福祉まつり2022』において、波岡東地区の為に日ごろからご尽力くださっている方々の表彰がありました！

縁の下の力持ちとして、いつも地域のことを考え、行動して下さりありがとうございます。



社会福祉協議会会長表彰状
 民生児童委員 9名（順不同敬称略）
根本喜一郎 石川耕司 大和晃 重森和子 荻野洋
小山洋子 松本喜照 齋藤須美子 荻込美佐夫
社会福祉協議会会長表彰状
 地区社会福祉協議会役員 1名
根本喜一郎



波岡東地区
 生活支援コーディネーター
出口真由美
080-4953-8707
 (月～金 9:00～16:00)

いつもカスミの移動スーパーを利用している元気なTさん。
 『今後自分が困って助けてもらうこともあるだろう、動けるうちは困っている方の手助けをするボランティア活動が私にもできるかしら?』と、波岡HELPに入会。
 とても前向きな気持ちで日々を送っている。
 Tさん、頼りにしています。

畑で育てた野菜を、自転車で波岡東地区から清見台まで一人で運び、販売しているSさん。
 80歳を超えているけどとても元気でパワフル。
 本人も得意げに話してくれている。
 いつまでも元気で畑仕事して、美味しい新鮮野菜を届けてください。

高齢の方が、地域で元気に暮らすための全力サポート！まずは気軽にお電話ください！

2022 年度あんなことこんなこと

残念ながら今年度も、「ひとり暮らしのバスハイク」や「敬老のつどい」は、新型コロナウイルスの影響を受け、実施に至りませんでした。

その一方で、コロナ禍で新たに始めた、生徒児童たちによる年賀状送付は、昨年に引き続き大変好評でした。



新年の「ちびっこマラソン大会」「凧あげ」なども、久しぶりに開催され、子供たちの笑顔がはじけました。